

- 市電** ループ化が実現、さらに延伸を
- 待機児童** 保育所の待機児童ゼロへ、道を開く
- 備蓄物資** 全小中学校に災害時の備蓄物資配置



札幌市議会議員 **小形かおり**

市民運動とともに、ついに市電ループ化を実現、続けて延伸の具体化をすすめます。  
 「保育所に入りたくても入れない子をゼロに」父母の切実な声とどけ、市は「2014年度末までに待機児童はゼロ」と答弁しました。  
 すべての小中学校の避難所に、水や食料などの備蓄物資を配備することになりました。求め続けた成果です。さらに、お寺や町内会館などにも配備させます。

**消費税 転嫁**

**地下鉄・上下水道料金など “値上げ予算” に反対**

日本共産党  
札幌市議団

2014年 札幌市議会 第1回・第2回 定例会報告

**予新 年度 算度** 国の悪政から市民を守る予算に

自民、民主、公明、市民ネットが値上げに賛成

第1回定例会（2月14日～3月28日）で、井上ひさ子議員が代表質問に立ちました。  
 新年度予算案は、消費税の増税を転嫁する地下鉄運賃や上下水道料金などの値上げが盛り込まれたものでした。  
 井上議員は、「市民を国の悪政と貧困から守ること」を予算の基本に据えるべきと訴え、共産党市議団は予算案に反対しました。しかし、自民、民主、公明、市民ネットなどの賛成で可決されました。

第2回定例会（5月16日～30日）で、伊藤りち子議員が代表質問に立ち、保育所の待機児童解消や学童保育の過大規模解消と指導員の処遇改善、特養ホームの増設などについてただしました。

**集団的 自衛権** 砂川事件判決は“解釈変更の根拠にできない” “限定しても認められぬ”

伊藤議員が、砂川事件最高裁判決を持ち出して集団的自衛権が認められるとする議論についてただすと、上田市長は「解釈変更の根拠には到底できない」「限定したとしても認められるものではない」とのべました。  
 また、教育への国の介入をねらう教育委員会制度改革について、市長は「仮に制度変更がなされても、教育の政治的な中立性、安定性、継続性は確保されなければならない」と答弁しました。

**スピーチ** 市長の政治姿勢ただす

“差別的な言動は恥ずべきことで極めて遺憾”

「ソウルを火の海にしる」など、聞くに堪えない言葉を叫びたてるヘイトスピーチ（憎悪表現）が社会問題になっています。  
 井上議員が「観光客でにぎわう雪まつり会場でも行われている」とただすと、上田市長は「差別的な言動は恥ずべきことで極めて遺憾」と答えました。

**雇用・くらし・平和を守れ** メーデーに5000人



(左から)伊藤、宮川、小形、坂本の各市議と紙谷さん

第85回メーデー北海道集會に5000人が参加。雨の中デモ行進しました。

**市政だより**

2014年6・7月号外  
 発行/日本共産党札幌市議会議員団事務局  
 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所内  
 TEL011-211-3221 FAX011-218-5124  
 HP: <http://www.jcp-sapporo.jp/>  
 日本共産党札幌市議団の活動と見解を紹介します。